

対象国水道分野における開発ニーズ(課題)

・2025年90%、2030年100%の住民に対し水道給水を行うという政府方針も、達成の目途はたっていない。特に整備が遅れる地方部については民間による投資が推奨されているが、技術不足や採算性重視の結果と思われる水質基準を満たせない設備が各都市にある。

提案製品・技術

・パッケージ化された小型浄水システム。
・日本の水道設計指針に準拠し、安定処理が可能。
・膜処理と比して安価な初期投資/運転コスト、容易な運転維持管理。
・工場内作が可能であり現場工事期間を短縮可能。

案件概要

- ・ 契約期間: 2023年7月～2026年6月
- ・ 対象国・地域: カンボジア国プノンペン都、シエムリアップ州、バタンバン州、カンポット州
- ・ 相手国実施機関: カンボジア国工業技術科学革新省(MISTI)および工業技術科学革新局(DISTI)
- ・ 案件概要: カンボジア国の地方水道を対象に当社技術・経験に基づくパッケージ型小型浄水システムを普及させるべく実証を行い、ビジネス展開計画を策定するもの。



パッケージ型小型浄水システム

開発ニーズ(課題)へのアプローチ方法(ビジネスモデル)

・当社は自社投資により前述の浄水システムを建設。DISTI/公社へ水道水をバルク売りし、供給量により料金を徴収する。
・初期投資/運転コストが安価、且つ日本の水道設計指針に準拠した当社小型浄水システムを活用することで、事業採算性を確保しながら、安定した水質の水を供給することが可能。

対象国に対し見込まれる成果(開発効果)

・整備が遅れる地方部においても安価で安定した水質の水道にアクセスができるようになる。
・当社投資により地方部給水率が上昇、結果として2030年までにすべての住民に対し水道給水を行うという政府方針達成に貢献できる。